

学校名

福岡県立福岡農業高等学校

## 平成 26 年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

### I 委託事業の内容

#### 1. 研究開発課題名

都市園芸に関する専門的な技術及び技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成～次世代の農業経営者や農業関連技術者を育成するための本科と専攻科が連携した教育プログラム研究開発を通して～

#### 2. 研究の目的

本事業は、将来の農業及び農業関連産業に従事するプロフェッショナルを育成するため、最先端の栽培方法及び管理技術を習得させるとともに、企業等での実務的な学習により経営感覚を身につけるための具体的な手立てを研究する。あわせて、都市部と農村部をつなぎ、それぞれの地域の活性化につながる農業人材育成を目指す。

#### 3. 実施期間

契約日から平成 27 年 3 月 13 日まで

#### 4. 当該年度における実施計画

平成 26 年度は、次の 5 つを中心に事業を進める。

##### ① 研究推進のための体制づくりと評価方法の研究

運営指導委員会及び校内の研究体制を発足し、毎月の S P H 研究推進委員会において研究内容や研究成果、研究の進捗を定期的に報告するとともに、研究の方向性を確認する。また研究の流れや系統性を検証し、各事業がリンクして取り組める体制づくりを行う。あわせて、S P H 研究推進委員会において外部委員の助言を受けながら本事業や生徒が身につけた資質・能力を適切に把握できるよう評価規準や手法について多角的な視点から研究を行う。

##### ② 特色ある新規カリキュラム開発

学校設定科目「食農マネジメント」の単元構成や学習内容を「一般社団法人 食農共創プロデューサーズ」と連携して、6 次産業化に向けた研究を進め、レベル 1 とレベル 2 以上の取得に向けたカリキュラム開発を目指す。さらに専攻科と調整を行い、本科から専攻科へ継続学習できるカリキュラム開発を行う。あわせて学校設定科目「農業工学基礎」の単元構成や学習内容を研究し、養液栽培プラントの維持・管理に向けた科目として確立する。

##### ③ 関係機関との連携した研究プログラムの実践

S P H の推進に当たっては、関係大学・企業・研究機関と連携を行い、特色ある研究プログラムを実施する。

フロンティア学習においては、九州大学、九州沖縄農業研究センター、企業と連携を行い、

栽培管理や施設管理に関する最先端の技術・技能を学習する。

マネジメント学習においては、農業生産法人や農業関連企業でプラクティカルトレーニングを複数回行うとともに、社会人講師招聘を行い、実践的な経営感覚を学ぶ。さらに、グローバル GAP については企業と連携し、システムや運用方法について学習を行う。

スキルアップ学習では、一般社団法人 食農共創プロデューサーズと連携し、食 Pro レベル1の取得に向けて学習を行う。

④ 情報発信

地域の小学校や中学校、県内の産業教育関係の高校や農業関連の事業所等へ情報を発信し、本事業への認知度を高める。

⑤ 高度な技術習得に向けた学習環境整備

技術及び技能の効果的な習得をすすめるために必要な備品を整備し、本研究推進のための学習環境を整える。また備品の運用に当たっては、外部講師を活用した高度な技術を習得させるとともに、有効活用を図る。

## 5. 実施体制

### (1) 研究担当者

氏名	職名	役割分担・担当教科
堀 利治	教諭	全体企画及び総務、学校設定科目検討・野菜
平田 陽一	主幹教諭	総務、学校設定科目検討・草花（外部講師）
永野 義弘	主幹教諭	総務、学校設定科目検討・果樹 （先進地・外部研修）
本多 真由美	指導教諭	学校設定科目検討・家庭
鬼木 清	教諭（専攻科）	会計、学校設定科目検討・植物バイオ （フロンティア学習担当）（九州大学連携）
岩屋 恭士	教諭（専攻科）	学校設定科目検討
岡部 英紀	教諭	（フロンティア学習担当）学校設定科目検討
真鍋 公士	教諭	（マネジメント学習担当）学校設定科目検討
諫山 弘基	教諭	（スキルアップ学習担当）学校設定科目検討
内田 康記	教諭	（スキルアップ学習担当）学校設定科目検討
合原 竜	実習助手	（フロンティア学習担当）学校設定科目検討
中尾 大海	実習助手	（マネジメント学習担当）学校設定科目検討

(2) 研究推進委員会

氏名	所属・職名	役割分担・専門分野等
森高 政博	九州大学・助教	研究の評価及び助言・食品流通学
野間 誠司	九州大学・助教	研究の評価及び助言・食品製造学
大野 憲俊	大同青果(株)・取締役社長	研究の評価及び助言・流通
田中 浩一	福岡農業高校・校長	研究の運営
栗之丸 隆太郎	福岡農業高校・教頭	研究の企画及び運営
薦田 源一	福岡農業高校・教頭(専攻科)	研究の企画及び運営(総括)
平田 陽一	福岡農業高校・主幹教諭	研究の推進及び工程管理・草花
堀 利治	福岡農業高校・教諭	研究の推進及び工程管理・野菜
鬼木 清	福岡農業高校・教諭(専攻科)	研究の推進・植物バイオ
本多 真由美	福岡農業高校・指導教諭	研究の推進・研究内容の評価

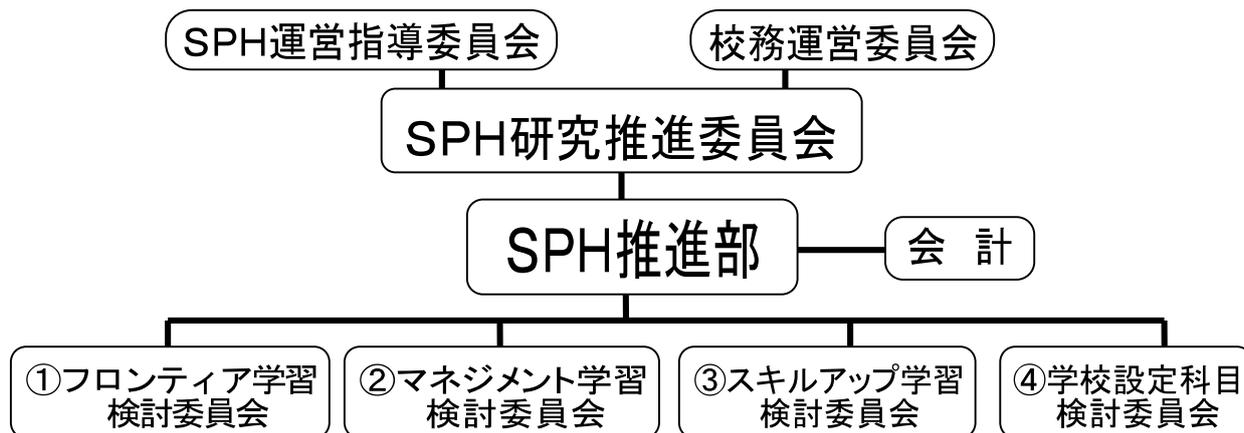
(3) 運営指導委員会

氏名	所属・職名	役割分担・専門分野等
井上 眞理	九州大学・教授	運営指導委員長
比良松 道一	九州大学・准教授	カリキュラム開発・園芸学
徳 光 茂	福岡県農業大学校 教務部長	カリキュラム開発・研究支援
高橋 克典	福岡県農林水産部経営技術支援課 後継人材育成室 企画主幹	研究・技術支援
井手 正宏	農業組合法人 大木しめじセンター 組合長	研究・技術支援
井上 淳一	J A 筑紫 企画管理部 部長	研究・広報支援
養父 信夫	株式会社 マインドシェア 編集長	研究・技術支援
樋口 勤	株式会社 N&N 博多さんか園店長	研究・技術支援
河邊 哲司	株式会社 久原本家 代表取締役	研究・技術支援
米原 泰裕	福岡県教育庁教育振興部 高校教育課長	教育行政

(4) 校内における体制図

効果的に本事業を推進するために、以下のような委員会を設立し、定期的な委員会を開催する。

- ① S P H 運営指導委員会 (7月、12月)
- ② S P H 研究推進委員会 (毎月1回開催)
- ③ S P H 推進部 (随時)
- ④ 各種検討委員会 (毎月1回開催)



6. 研究内容別実施時期（都市園芸科、専攻科共通）

月	フロンティア学習	マネジメント学習	スキルアップ学習	学校設定科目検討
4月	生徒実態調査、研究プログラムの開発・検討			
5月	研究推進委員会の設立、研究プログラム実施準備			
	年間実施計画作成	年間実施計画作成	年間実施計画作成	学校設定科目学習内容選定
6月	提携先との受託契約締結	提携先との受託契約締結	6次産業化の基礎学習	学習内容の系統性検証
7月	第1回運営指導委員会、SPH実施計画の修正			
	本科生徒の専攻科講義聴講 企業の農業参入研修 園芸学会発表に向けた指導	ブラクティカルトレーニング実施	食Pro資格講習受講	新カリキュラム検討 評価方法の研究
8月	園芸学会発表に向けた指導	ブラクティカルトレーニング実施 食の6次産業化視察研修	食Pro資格講習受講	集中講義・実験実習
9月	本科生徒の専攻科講義聴講 専攻科先進農家研修 園芸学会への参加・発表	社会人特別講師の活用	食Proレベル2取得に向けたカリキュラム検討	新カリキュラム決定・申請
10月	本科生徒の専攻科講義聴講	GAP取得に関する研修 社会人特別講師の活用	食Proレベル2取得に向けたカリキュラム検討	学習内容の検証・評価
11月	本科生徒の専攻科講義聴講	社会人特別講師の活用	食Proレベル2取得に向けたカリキュラム作成	評価方法の研究
12月	本科生徒の専攻科講義聴講	ブラクティカルトレーニング実施	6次産業化先進校の交流研修 食Pro資格講習受講	学習内容の検証・評価
	第2回運営指導委員会			
1月	本科生徒の専攻科講義聴講	社会人特別講師の活用	食Proレベル1申請	学習内容の検証・評価
2月	年間反省、研究発表大会、次年度計画			
3月	事業報告書発刊、文部科学省へ報告書提出			

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交付者	交付額	交付年度	業務項目
実績なし	余白	余白	余白	余白

8. 知的財産権の帰属

※ いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意のこと。

( ) 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有・**無**

※有の場合、別紙様式7に詳細を記載のこと。

II 委託事業経費

別紙様式4に記載

III 事業連絡窓口等

別紙様式6に記載